

そもそも、ジオパークとは？



地球の記憶は未来への道しるべ

ジオパークは大地の遺産を守りながら、活用することで、地球に対する意識を高め、社会の持続可能な発展を目指すプログラムです。地質や地形などの大地の遺産は、私たちの暮らす地球の進化の歴史を教えてくれるものです。大地に記された「地球の記憶」を読み解くことで、様々なことがわかります。これらの「地球の記憶」は、私たちが地球で生きていくための「未来への道しるべ」なのです。そんな人類の財産ともいうべき大地の遺産を守り活用するジオパークの取り組みは、1990年代にヨーロッパの地質学者たちにより提唱されました。ジオパークの

取り組みはやがて世界中に広がり、2015年にユネスコの正式なプログラムになりました。

Think globally, act locally

ジオパークは、世界中で共通のコンセプトにより進められ、ネットワークを通じて、世界中の仲間とつながることが可能です。地域から地球全体を知り、地球規模で考える。そして、課題に対して、まずは地域で行動してみる。地域から起こった小さな取り組みも、世界の仲間たちと一緒になら、やがて大きな力となり、世界を変えることになるかもしれません。ジオパークはそんな可能性を秘めています。



土佐清水ジオパーク構想のしおり

ジオパークのかっどう

つたえる

大切なものを守っていくためには、「伝える」活動が不可欠。ガイドツアーや教育、広報活動で、地域の価値や地球の記憶を伝えていきます。

みつける

土佐清水の大地や自然、暮らしや文化をよく調べ、よく観察して、宝物を探し出して、磨き上げます。

つなげる

これまで地域に点在していたもの（人と人、人と自然やあらゆる学問領域など）をジオパークがつなげ、つながりから新たな価値や取り組みを生み出します。

まもる

地球規模で考えながら、自然を守り、地域の伝統や暮らしを守することで、「土佐清水らしさ」を未来に伝えていきます。

そなえる

地球の歴史から学び、地球と大地のことをよく知ることで、自然災害に備え、災害に強いしなやかな地域づくりを進めます。

活動事例

1 防災・減災活動

地域の方たちと協力して、エリア内にある自然災害の記録を伝える「自然災害碑」を調査し、市の文化財へ登録しました。先人たちが残したメッセージを未来へ伝えるため、自然災害碑を題材にした防災学習やワークショップを行っています。



2 研究活動の地域への還元

エリア内の学術資料の蓄積のため、土佐清水ジオパーク構想では、専門員による研究をはじめ、様々な分野の研究の誘致や支援を行っています。研究で得られた成果をジオパークの活動や電車ビジターセンターのイベントなどで活用し、地域へ還元しています。



3 ジオツーリズム

ジオパークでは、地域のこと、大地のことを学び、楽しむジオツーリズムを推進しています。ジオガイドによる大地の物語を体感できるジオガイドツアーを販売し、地域の価値を土佐清水に訪れた人たちに伝えています。



自然のめぐみと知恵を明日へつなぐ人づくり

ジオパークは、地球科学の視点から、大地やそこに成立した生態系、私たちの暮らしや文化を守り、活用することで社会の持続可能な発展を目指すプログラムです。地球への意識を高め、社会が直面する課題の解決を目指します。

土佐清水においてジオパークに取り組む目的は、土佐清水らしさを残し、より良い未来を作ること。土佐清水では現在、人口減少が大きな課題となっています。そこで、「人口減少＝地域の活力の低下」とならないよう、人口に依存せず地域を活性化する方法が必要です。そのためには、地域を構成する「人」がその人らしく活躍し、自己や社会のよりよい未来のために行動していくことが大切です。土佐清水ジオパーク構想では、ジオパーク活動により地域づくりや社会の課題解決に取り組み、未来を切り開く「人」を育てていきます。

1 地球科学を土台とした学び

壮大な地球時間のスケールを体感し、過去から未来を探り、あらゆるもののつながりを知ることで、地球視点・地球規模で物事を考えます。



2 ネットワークや交流による学び

ジオパークのネットワーク活動により、日本中、世界中の人々と交流することで、相互理解を深め、そこから新たなアイデアを生み出していきます。



3 「土佐清水アイデンティティ」の構築

自分たちの地域のこと、そして世界のことをジオパークを通じて学ぶことで、「土佐清水アイデンティティ」を育み、地域を愛し、地域のために行動できる人を育てていきます。

